

<地方創生に係る実施状況>

「福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「戦略」という。）は、総合計画を基本に、地方創生の観点から施策等を整理、再構築したものであり、実施状況は「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」のとおりである。下表は、5～8ページの成果指標を戦略に沿って整理し、再掲するものである。

基本目標Ⅰ しごと・雇用機会を創出し、活力につながる人の流れをつくる

施策	成果指標	初期値 (戦略策定時)	最新値	目標値
全 般	就業機会の多さに対する満足度(施策6-5より)	48.2% (2018年度)	49.7%	50%
	入込観光客数 (施策5-1より)	2,134万人 (2017年)	1,860万人	2,300万人
(ア)福岡市グローバル創業・雇用創出特区の推進と新たな価値の創造	新設事業所数 (施策7-1より)	1,114事業所/年 (2016年)	1,972事業所/年	1,200事業所/年
	クリエイティブ関連産業事業所数 (施策7-3より)	2,504事業所 (2016年)	3,058事業所	2,900事業所
(イ)地域経済を支えている産業の競争力強化	市内大学の民間企業などとの共同研究件数 (施策6-1より)	887件 (2017年度)	1,043件	1,050件
	博多港・福岡空港における貿易額(施策8-3より)	4兆6,795億円 (2018年)	6兆7,987億円	5.5兆円
(ウ)新たな雇用につながる企業等の誘致	成長分野・本社機能の進出企業数 (施策6-2より)	57社/年 うち外国企業等14社/年 (2018年度)	61社/年 うち外国企業等15社/年	55社/年 うち外国企業等17社/年
	進出した企業による雇用者数(施策6-2より)	1,334人/年 (2018年度)	648人/年	3,000人/年
	在住外国人の住みやすさ評価(施策8-8より)	61.4% (2018年度)	60.6%	67%
(エ)観光・MICE 振興による交流促進	福岡市への外国人来訪者数(施策5-6より)	309万人 (2018年)	279万人	320万人
	外航クルーズ客船の寄港回数(施策5-6より)	264回 (2018年)	63回	250回
	国際コンベンション開催件数(施策5-4より)	296件 (2017年)	33件	313件
	国内コンベンション誘致件数(施策5-4より)	146件 (2018年度)	158件	160件
(オ)活力につながる人材の還流・定着等	若者率の全国平均との差(施策7-5より)	+3.1ポイント (2015年度)	+3.3ポイント	+5.0ポイント
	外国語で簡単な日常会話ができると思う生徒の割合(施策8-5より)	58.9% (2018年度)	74.0%	80%
	就労目的の在留資格を持つ外国人の数(施策8-5より)	5,500人 (2018年)	8,846人	8,000人
(カ)都市の活力を牽引する拠点やゲートウェイの機能強化	都心部の従業者数(施策8-1より)	36万6千人 (2014年)	39万8千人	40万人
	博多港国際海上コンテナ取扱個数(施策8-4より)	95万TEU (2018年)	91万TEU	130万TEU
	外国航路船舶乗降人員(施策8-4より)	197万人 (2018年)	34万人	210万人
	福岡空港乗降客数(施策8-4より)	2,464万人 (2018年)	2,408万人	2,500万人

基本目標Ⅱ 働き方を見直し、安心して生み育てられる環境をつくる

施策	成果指標	初期値 (戦略策定時)	最新値	目標値
全 般	子育て環境満足度 (施策 1-7 より)	72.0% (2018 年度)	70.9%	75%
(ア)若者・子育て 世 代の経済的安定・経 済的負担軽減	25 歳から 44 歳までの 女性の就業率 (施策 6-5 より)	74.2% (2017 年)	78.9%	75%
(イ)妊娠・出産・子 育て等への切れ目な い支援	地域での支え合いにより、 子育て家庭や高齢者が暮ら しやすいまちだと感じる市 民の割合 (施策 2-3 より)	38.8% (2018 年度)	41.2%	65%
(ウ)子ども・子育て支 援の充実	保育所入所待機児童数(施 策 1-7 より)	40 人 (2018 年度)	0 人	0 人
(エ)仕事と生活の調 和(ワーク・ ライフ・バランス)	企業における女性管理職比 率(施策 7-5 より)	10.0% (2014 年度)	11.3%	15%
	男女の固定的な役割 分担意識の解消度 (施策 1-2 より)	男性 63.4% 女性 75.9% (2018 年度)	男性 76.2% 女性 84.1%	男性 80% 女性 80%

基本目標Ⅲ 超高齢社会に対応した持続可能で質の高い都市をつくる

施策	成果指標	初期値 (戦略策定時)	最新値	目標値
全 般	健康に生活している高齢者 の割合(施策 1-3 より)	50.6% (2016 年度)	49.9%	50%
(ア)生涯元気に活躍 できる社会づくり	スポーツ活動をする市民の 割合(施策 1-5 より)	53.3% (2018 年度)	56.7%	60%
	NPO・ボランティア活動 などへの参加率 (施策 2-4 より)	14.5% (2018 年度)	14.9%	24%
(イ)ユニバーサルデ ザインの理念による まちづくり	ユニバーサルデザインの 取組みへの評価 (施策 1-1 より)	32.4% (2018 年度)	52.9%	65%
	高齢者の居住する住宅のう ち一定のバリアフリー化が 行われた割合 (施策 3-3 より)	37.5% (2013 年)	40.3%	80%
(ウ)すべての人が安 心して暮らせる社会 環境づくり	地域活動への参加率 (施策 2-1 より)	49.7% (2018 年度)	45.7%	70%
	公民館の利用率 (施策 2-2 より)	23.6% (2018 年度)	20.2%	50%
	福祉の充実に対する 満足度(施策 1-6 より)	48.1% (2018 年度)	50.8%	65%
	市の施策によるソーシャル ビジネス起業者数 (施策 2-5 より)	56 人 (2018 年度)	168 人	130 人
(エ)福岡型のコンパ クトな都市づくりと地 域活性化	公共交通の利便さへの 評価(施策 4-5 より)	79.5% (2018 年度)	81.8%	現状維持 (80%程度)
	福岡市の農林水産業を 守り育てていくべきだ と思う市民の割合 (施策 6-4 より)	73.9% (2018 年度)	77.5%	85%

戦略における地方創生の取組みのうち、国からの交付金を活用した事業は以下のとおりである。

① 国際金融都市としての地位向上による地域活力促進事業

(経済観光文化局企業誘致課)

目的	外資系金融機関の誘致促進、地域経済の活性化や新しいビジネスモデルの創出、グローバルビジネスの雇用の拡大を進め、福岡の特性と親和性の高い国際金融機能の誘致に取り組む。	事業期間	R3n-R5n
		交付対象 事業経費	22,710 千円 (R5n)
実施内容	■企業の拠点設立相談、成長支援 ・国際金融に特化したワンストップサポート窓口「Global Finance Centre」の運営 ■地場企業と海外投資家のマッチング事業 ・資金調達を目指す地場企業と海外投資家のマッチング事業等を実施 ■海外のプロモーション、誘致活動 ・台湾において企業誘致セミナーを実施		
KPI		R5n 目標	R5n 実績
経済波及効果(百万円)		2,754	9,010
雇用者数(人)		141	359
プロモーション参加企業数(社)		30	39
ワンストップサポート窓口相談件数(件)		470	300
			達成率
			327.2%
			254.6%
			130.0%
			63.8%

② 福岡市生涯活躍のまち推進事業

(福祉局政策推進課)

目的	認知症や要介護のリスクが高まる後期高齢者となっても意欲や能力に応じて役割をもって「生涯活躍できる社会(まち)」の構築を推進するため、各種取組みを実施。	事業期間	R3n-R5n
		交付対象 事業経費	102,892 千円 (R5n)
実施内容	■「福岡 100」の推進 ・人生 100 年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる、持続可能な社会をめざすプロジェクト「福岡 100」を、産学官民オール福岡で推進 ■FitnessCity プロジェクト ・市民の「運動不足」の解消を図るため、公園や道路、駅などの身近な環境を活用した自然と楽しく体を動かせる仕組みや仕掛けのあるまちづくりを推進 ■認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及 ・認知症の家族を介護されている方や専門職、市民などを対象としたユマニチュード講座を実施		
KPI		R5n 目標	R5n 実績
地域や社会で役割を持ち、新たに就業やボランティア等の活動開始活躍する市民数(人)		1,650	9,977
新たな生活様式に対応した健康づくり事業等へ参加する市民数(人)		9,250	14,040
新たな事業創出数(事業)		23	23
			達成率
			604.7%
			151.8%
			100.0%

③ 「エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進」深化・高度化事業

(経済観光文化局新産業振興課)

目的	国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図る。	事業期間	R4n-R6n
		交付対象 事業経費	84,723 千円 (R5n)
実施内容	■エンジニアカフェにおけるアウトプット創出支援 ・先端技術やビジネス等の知見に長けたスタッフを配置し、幅広くサービス設計支援や技術支援を実施 ・エンジニアを目指す学生を対象とした先端技術や新技術に関するイベントを実施 ■クリエイティブ人材育成 ・エンジニアを目指す地元学生へ人材育成プログラムを実施 ■プロダクト開発促進支援 ・開発コンテストを実施し、優秀者はアワードで表彰 ■エンジニアビザの運用開始 ・外国人エンジニアの早期入国を可能とし、企業におけるプロジェクトの早期着手によるさらなるイノベーションの促進を支援するエンジニアビザ制度の運用を開始		
KPI		R5n 目標	R5n 実績
アウトプット創出件数(件)		16	150
IT 人材を確保できている市内 IT 企業の割合(%)		45.0	— ※1
エンジニアビザを活用して入国した外国人エンジニア数(人)		25	1 ※2
本事業に参画した県外のエンジニアや学生の数(人)		1,320	5,353
			達成率
			937.5%
			—
			4.0%
			405.5%

※1:R7.1にアンケート調査を実施予定 ※2:R5.11に制度運用開始